

## 【事例 1 3】

## 移動図書館の運行業務

実施年度	平成 13 年度～	連携・協働形態	委託												
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H 1 3 年度は、運転業務・返却業務（業務従事者 2 人）、移動図書館の保守管理 区委託</li> <li>・ H 1 5 年 1 0 月から、既存委託内容に、貸し出し業務を加え委託（業務従事者 3 人）</li> </ul>														
連携・協働の 範囲	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画</th> <th>実 施</th> <th>実施後の評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行 政</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>N P O</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				計 画	実 施	実施後の評価	行 政				N P O			
	計 画	実 施	実施後の評価												
行 政															
N P O															

### （行政）

市町村名	日立市	担当課	記念図書館	電話	0294-24-7715
------	-----	-----	-------	----	--------------

#### 連携・協働事業を行ったきっかけ（発意者：NPO）

従来は、館外奉仕担当（サービス）で、職員による運行業務を実施していた。しかし、館外奉仕担当業務の一部である公民館図書館・施設文庫の整備、充実を図るため、それに従事する職員を生みだすために（職員配置の合理化を図るため）委託を開始した。

#### 役割分担

NPO 側：当初は、ボランティアの自主的な参加を予定していたようであるが現実的ではないため、まちづくりや地域活性化等の事業を行うことを目的とし、市民によって構成された NPO 法人インパクトに移動図書館の運行業務改善プラン策定も含めて委託開始した。

行政側：委託内容は事業内容のとおりで、運行以外の移動図書館に係る部分（図書購入、貸出返却のデータの処理、予約受付後の処理等）は、従来のとおり職員が行っている。

#### 連携・協働によるメリット等（事業成果）

- 最大のメリットは、人件費経費の軽減
- 年間運行日数の増加を図ることができた
- 公民館図書室、施設文庫の整備充実を図ることができた

#### 連携・協働する上で配慮した点

- ・ 個人情報（プライバシー）の保護対策
- ・ 当初は、利用カードの作成や本の予約の受付業務を行うために、職員 1 名が同乗し行ってきたが、委託契約書に守秘義務の条項を設けてあるのでそれを厳守させ委託している。

#### 課題と対応

NPO 法人インパクトが提案してきた、移動図書館の運行業務改善プランがどこまで具現化できる

かが課題

連携・協働の今後の展望

課題への取り組みによって、さらに検討する必要がある。

---

《協働相手のNPO》

団体名	インパクト	電話	0294 29 6061
住所	〒316 0032 日立市西成沢町2-10-1 日立地区産業支援センター内		